

咨

注(1) 発落 決着をつける、の意であるが、ここでは打発に同じ。
行かせる。

1-40-18

琉球国中山王より暹羅国あて、阿普尼是等を遣わして公正な
交易を請う咨(二四三四、九、二六)

琉球国中山王、見^{げん}に礼儀の事の為にす。

今、正使阿普尼是等を遣わし、礼物を持齎し貴国に詣献せしめて以て遠意を表す。万望むらくは容納せよ。仍お希^{ねが}わくは今去^ゆく人船の装載する磁器は、四海一家を念^{おも}いて貿易を寛容し、両平に胡椒・蘇木等の貨を収買せしめんことを。回国して中国に貢するに備えん。即^{ただち}に発落せしむるを請う。風迅に乗趁し回還すれば便益ならん。今、礼物を將て開坐し奉献す。咨して施行を請う。須らく咨に至るべき者なり。

今開^{ひら}す

官段五匹 素段二十四

摺紙扇三十把 大青盤二十個

小青盤四百個 小青碗二千個

右、暹羅国に咨す

宣徳九年(二四三四)九月二十六日

礼儀の事

1-40-19

琉球国中山王より暹羅国あて、阿普尼是等を遣わして速やかな
な交易を請う咨(一四三五、九、一一)

琉球国中山王、礼儀の事の為にす。

切に卑国は東海に遠居するも、昔より今に及ぶまで貴国と深交し蓋し多年有るに縁^より、然して堅心を以て常に四海一家を念^{おも}い、永く往来を通ずるを結ばんと欲す。此の為に今、正使阿普尼是等を遣わし、礼物を齎送し詣前して奉献せしめ、聊^{いささ}か微誠を表す。切に領納を希^{ねが}う。煩^{わづ}わくは、今去^ゆく人船の装載する磁器等の物は、胡椒・蘇木等の貨を収買するを寛容せんことを。回国して中国に貢するに備えん。更に煩^{わづ}わくは疾^{すま}やかに発遣して回還せしめんことを。風迅を失悞する無く便益なるに庶^{ちか}からん。今、礼物を將て開坐し移咨す。須らく咨に至るべき者なり。

今開^{ひら}す

花段五匹 素段二十四 腰刀五把

彩色扇三十把 大青盤二十個